

## 2019年度(令和元年度)下水道事業の決算見込みの概要

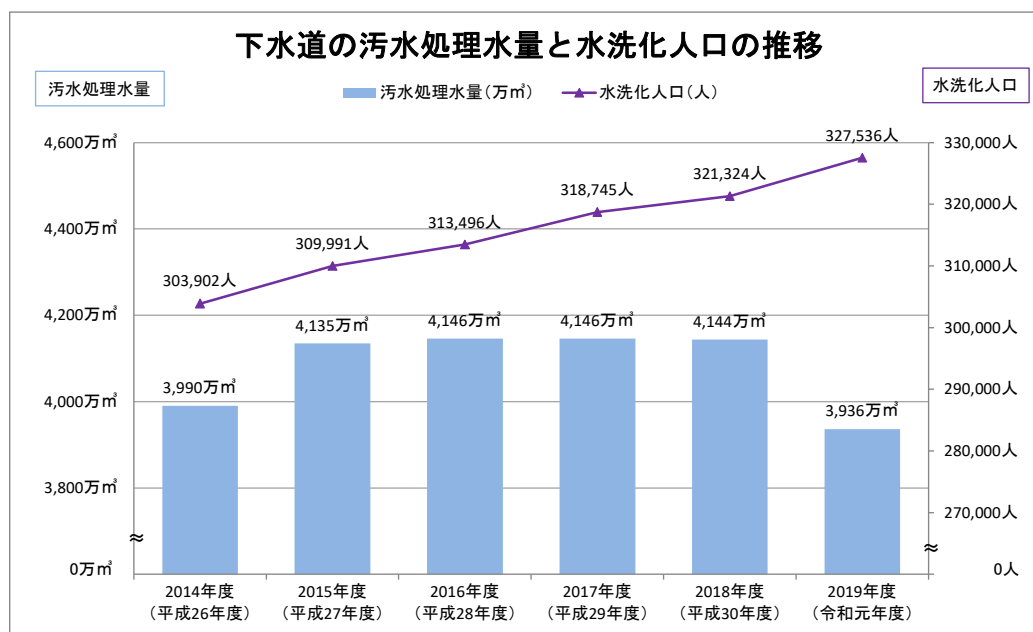
2019年度(令和元年度)下水道事業の決算見込みの概要をお知らせします。

### 下水道事業

#### 1 業務状況

下水道事業の業務状況は、次のとおりです。

事 項	2019年度 (令和元年度)	2018年度 (平成30年度)	増 減
処 理 区 域 内 人 口	347,322 人	342,152 人	5,170 人
普 及 率	74.2 %	73.1 %	1.1 點
水 洗 化 人 口	327,536 人	321,324 人	6,212 戸
水 洗 化 世 帯 数	148,072 世帯	143,513 世帯	4,559 世帯
総 汚 水 処 理 水 量	39,361,810 m <sup>3</sup> /年	41,439,136 m <sup>3</sup> /年	△ 2,077,326 m <sup>3</sup> /年
一 日 平 均 汚 水 処 理 水 量	107,546 m <sup>3</sup> /日	113,532 m <sup>3</sup> /日	△ 5,986 m <sup>3</sup> /日



## 2 建設改良事業の概況

2019年度(令和元年度)に実施した主な建設改良事業は、次のとおりです。

### ○公共施設整備事業【25億448万円】

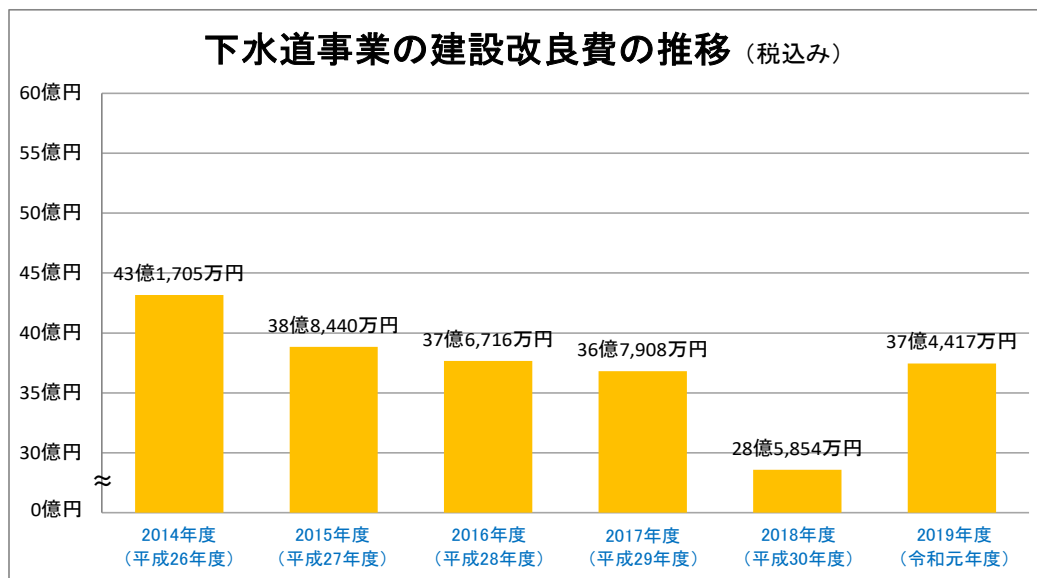
- 新涯ポンプ場ポンプ設備工事
- 松永浄化センター汚泥処理棟機械設備工事
- 下水道管渠耐震化工事(31-1) 外

### ○単独施設整備事業【12億1,274万円】

- 下水道管渠点検調査業務委託(31-1)
- 円形管埋設工事(流関第30-15工区) 外

### ○流域下水道整備事業【1,318万円】

- 芦田川流域下水道建設負担金



新涯ポンプ場ポンプ設備工事



松永浄化センター汚泥処理棟機械設備工事

### 3 財政状況等

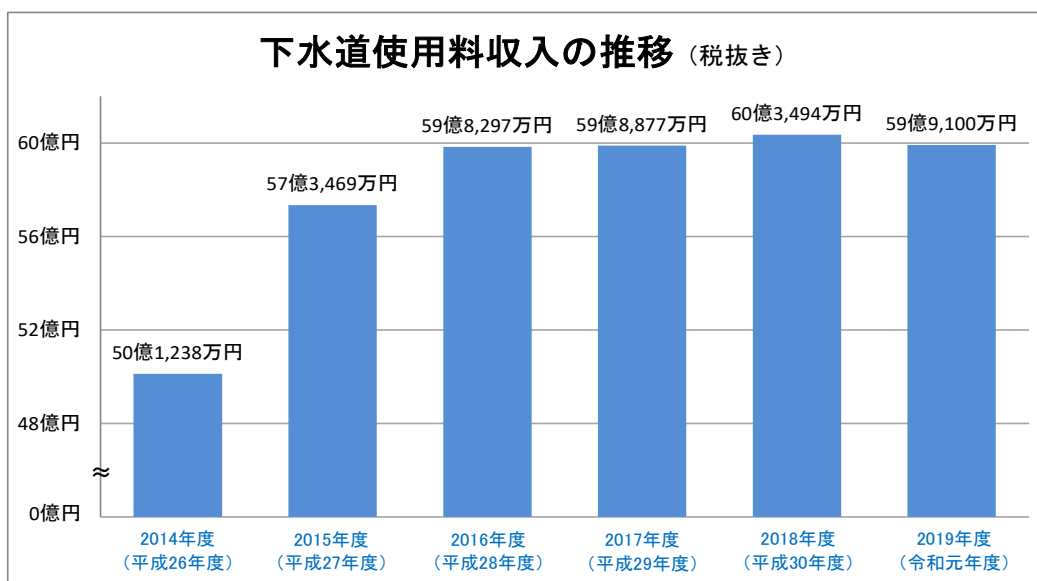
#### (1) 収益的収支(下水道使用料の収納や汚水の浄化などに伴い発生する収入と支出)

本年度の経営収支状況について、事業収益は、他会計負担金などが増加したものの、下水道使用料や産業廃棄物の処理に係る損害賠償請求による特別利益が減少したことなどにより、前年度と比較して、1億8,845万円(1.6%)減少し、116億9,710万円となりました。

一方、事業費用は、委託料などが減少したものの、松永浄化センター西系用地の譲渡による特別損失が減少したことなどにより、前年度と比較して、2億8,055万円(2.7%)減少し、101億3,932万円となり、差引15億5,778万円の当年度純利益を計上しました。

(税抜き)

事 項	2019年度 (令和元年度)	2018年度 (平成30年度)	増 減
収 益 的 収 入 (うち、下水道料金収入) (うち、繰入金)	116億9,710万円 (59億9,100万円) (35億4,002万円)	118億8,555万円 (60億3,494万円) (35億252万円)	△1億8,845万円 (△4,394万円) (3,750万円)
収 益 的 支 出	101億3,932万円	104億1,987万円	△2億8,055万円
差 引	15億5,778万円	14億6,568万円	9,210万円

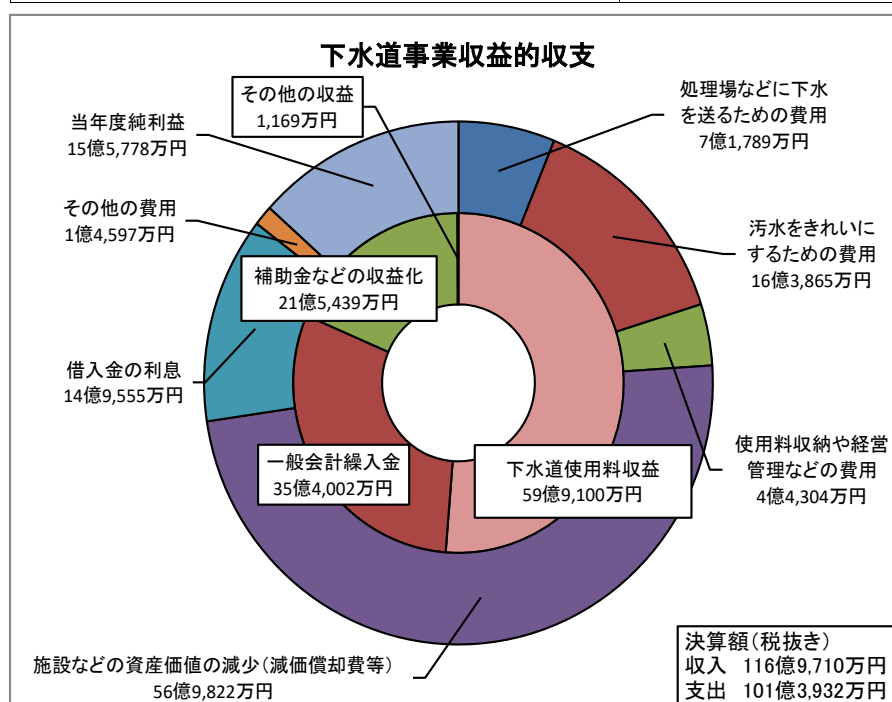


下水道事業損益計算書

【2019年(平成31年)4月1日から2020年(令和2年)3月31日まで】

(税抜き)

科 目		決 算 額	円グラフの表示
営業収益	下水道使用料	59億9,100万円	下水道使用料収入
	他会計負担金	15億4,031万円	一般会計繰入金
	その他営業収益	80万円	その他の収益
営業費用	管渠費	2億8,396万円	処理場などに下水を送るための費用
	ポンプ場費	3億7,990万円	
	処理場費	2億3,990万円	汚水をきれいにするための費用
	排水設備費	5,403万円	処理場などに下水を送るための費用
	流域下水道費	13億9,875万円	汚水をきれいにするための費用
	業務費	2億808万円	使用料収納や経営管理などの費用
	総係費	2億3,496万円	
	減価償却費	55億9,742万円	施設などの資産価値の減少
	資産減耗費	1億80万円	
営業利益		△9億6,569万円	
営業外収益	受取利息	94万円	その他の収益
	他会計負担金	19億9,971万円	一般会計繰入金
	長期前受金戻入	21億5,439万円	補助金などの収益化
	雑収益	995万円	その他の収益
営業外費用	支払利息及び企業債取扱諸費	14億9,555万円	借入金の利息
	雑支出	4,439万円	その他の費用
経常利益		16億5,936万円	
特別損失	固定資産譲渡損	902万円	その他の費用
	過年度損益修正損	149万円	
	その他特別損失	9,107万円	
当年度純利益		15億5,778万円	



(2) 資本的収支(下水道施設の建設・改良などにかかる収入と支出)

資本的収入は、企業債(借入金)などにより、50億2,654万円となりました。

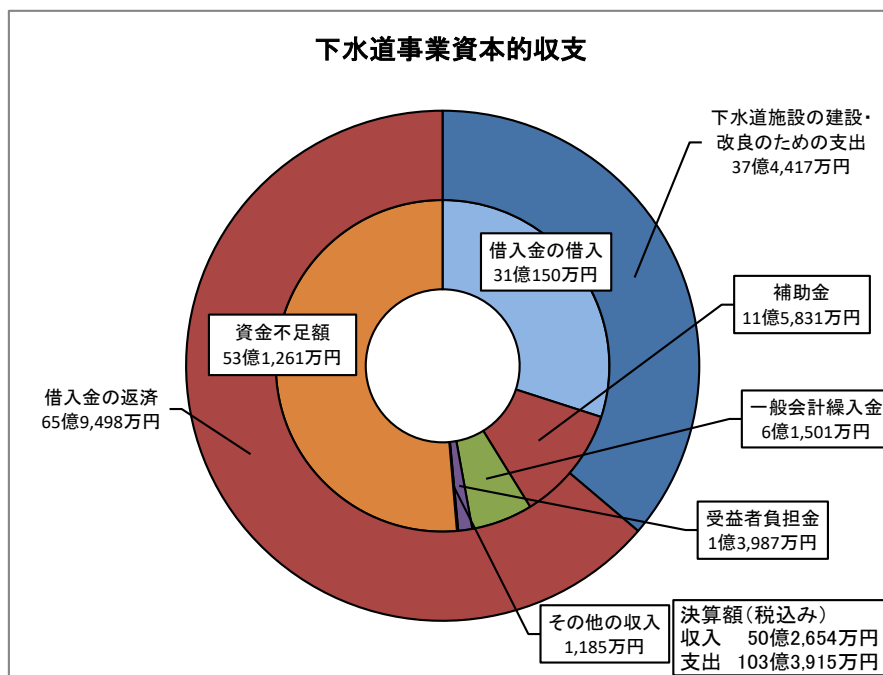
資本的支出は、建設改良費や企業債償還金(借入金の返済金)により、103億3,915万円となりました。

資本的収入が資本的支出に不足する額は、53億1,261万円となり、積立金などで補てんしました。

また、資金残高は前年度と比較して、310万円増加し、14億7,695万円となりました。

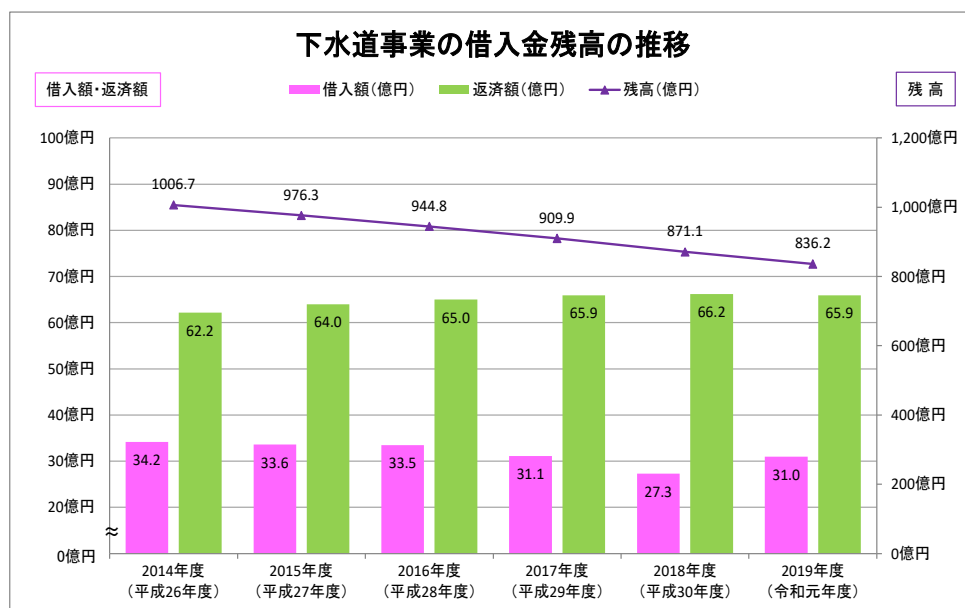
(税込み)

科 目	決 算 額	円 グ ラ フ の 表 示
資本的収入	50億2,654万円	
企業債	31億150万円	借入金の借入
国庫補助金	11億5,831万円	補助金
出資金	6億1,501万円	一般会計繰入金
工事負担金	473万円	その他の収入
受益者負担金	1億3,987万円	受益者負担金
受益者分担金	712万円	その他の収入
資本的支出	103億3,915万円	
建設改良費	37億4,417万円	下水道施設の建設・改良のための支出
企業債償還金	65億9,498万円	借入金の返済
差 引	53億1,261万円	不足額



### (3) 借入金の状況

借入金の残高は、前年度に比べて34億9,349万円(4.2%)減少し、836億1,857万円となりました。



## (4) 貸借対照表

下水道事業の財政状態を示す貸借対照表は、次のとおりです。

## 下水道事業貸借対照表

【2020年(令和2年)3月31日】

(税抜き)

資 産 の 部		負 債 の 部	
固定資産	1,679億2,629万円	固定負債	772億8,136万円
有形固定資産	1,608億3,766万円	企業債	770億8,607万円
無形固定資産	70億7,600万円	引当金	1億9,529万円
投資その他の資産	1,263万円	流動負債	85億3,154万円
流動資産	34億7,598万円	企業債	65億3,250万円
現金及び預金	31億9,379万円	未払金	19億4,142万円
未収金	2億8,210万円	引当金	3,454万円
その他流動資産	9万円	その他流動負債	2,308万円
		繰延収益	655億4,141万円
		長期前受金	655億4,141万円
		資 本 の 部	
		資本金	159億9,094万円
		資本金	159億9,094万円
		剰余金	40億5,702万円
		資本剰余金	10億3,356万円
		利益剰余金	30億2,346万円
		(うち当年度純利益)	(15億5,778万円)
合 計	1,714億227万円	合 計	1,714億227万円

## (5) キャッシュ・フロー計算書

下水道事業の現金・預金の増減を示したキャッシュ・フロー計算書は、次のとおりです。

(税抜き)

項 目	現 金 ・ 預 金 の 増 減
前年度末の現金・預金の残高	25億1,810万円
業務活動によるキャッシュ・フロー (下水道使用料の収納や汚水の浄化などに伴う現金・預金の収支)	53億1,552万円
投資活動によるキャッシュ・フロー (下水道施設の建設・改良などに伴う現金・預金の収支)	△14億2,300万円
財務活動によるキャッシュ・フロー (資金の調達や返済に伴う現金・預金の収支)	△32億1,683万円
当年度末の現金・預金の残高	31億9,379万円